

多くの人に温かく見守られ、 子供一人一人に笑顔が見られる活動

茨城県筑西市

活動名

協和特別支援学校
どんぐりクラブによる活動

関係する学校

協和特別支援学校

活動区分		※ H26 年度の実績（補助の有無については H27 年度の状況）						
基本データ	土曜日の教育活動	コーディネーター	子供の平均参加人数	開始年度	国庫補助	学習支援	ICT活用	企業・NPOとの連携
	学校支援地域本部	コーディネーター	ボランティア登録数	開始年度	国庫補助	学習支援	ICT活用	企業・NPOとの連携
放課後子供教室	コーディネーター数	子供の平均参加人数	年間開催日数	国庫補助	学習支援	ICT活用	企業・NPOとの連携	
	1人	14人	9日	有	無	無	無	
コミュニティスクール	実施場所				開始年度	放課後児童クラブとの連携		
	校内プレイルーム 等				20年度	連携なし		
指定日					委員数	児童生徒数	学級数	

活動の概要・経緯
特別支援学校在籍の児童・生徒にも様々な体験活動の機会を提供することを目的として、その保護者が中心スタッフとなり、平成20年度より活動を行っている。専門的技術をもつ市民講師から工作などを教わったり、実生活に役立つ調理実習を行ったりするなど、工夫ある体験活動を実施している。地域の方からもスタッフを募集し、配慮を必要とする児童・生徒一人一人を見守る体制をつくることで、安全への配慮も図っている。参加児童・生徒を募集するための説明会は、PTA総会で学校が主体となって行ったり、活動に際しての引渡しは担任の先生が活動場所まで引率したりするなど、学校とも連携して活動している。

特徴

【特徴的な活動内容】

- 市民講師による様々な体験活動（バルーンアート、折り紙、吹き矢、バドミントン、トルペイント、レジン液のキーホルダー作りなど）
- 高校生会OBによるレクリエーション
- 保護者が中心となって行う生活訓練を兼ねた調理教室やお楽しみ会

【実施に当たっての工夫】

- 活動の最初の時間は、みんなで「おやつ」を食べながらいろいろな話をするので、和やかな雰囲気の中で活動を始められるようにしている。
- 参加児童・生徒の個に応じ、できるだけ自分の力で取り組むことができるよう活動内容を工夫するなど、きめ細かい配慮を行っている。
- 児童・生徒それぞれに担当するスタッフを決めることで、安全への配慮を図っている。

事業を実施して

ふだんの学校生活ではできない体験ができるので、どの子供も楽しく活動している。個に応じた配慮を行い、できるだけ自分の力で活動できるようにしているので、年々子供の成長を見ることができ、保護者はもちろんだが、継続して担当するスタッフも自分の子供のように目を細めて見守っている。また、小学部1年生から高等部3年生までの異年齢集団で活動を行うため、高学年の子供があいさつをしたり低学年の面倒を見たりするなど、リーダーシップを発揮する場面も多い。子供も大人も笑顔が多い活動となっている。

その他

以前は月2回、放課後子供教室を実施していた年度もあったが、保護者の迎えの関係（特別支援学校なので広範囲からの通学となっていることから、活動終了時には迎えに来ることができない保護者もいる）や参加児童・生徒の生活リズムの確立なども考慮し、現在は月1回の活動となっている。その分内容の充実にも努めており、スタッフも研修会に参加して工作の技術や特別支援にかかわる注意点を学ぶなど、意欲にあふれている。



平成二十七年最初集合写真



市民講師によるバルーンアート